



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年10月30日

上場会社名 三井製糖株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2109 URL <http://www.mitsui-sugar.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 飯田 雅明
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 小塚 智広 TEL 03(3663)3111
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月12日 配当支払開始予定日 平成25年12月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	47,808	△1.0	2,384	44.3	4,089	65.0	2,495	67.2
25年3月期第2四半期	48,303	19.0	1,652	△37.0	2,478	△26.4	1,492	150.9

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 3,122百万円 (106.8%) 25年3月期第2四半期 1,510百万円 (159.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	18.72	—
25年3月期第2四半期	11.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	88,988	63,070	66.2	441.47
25年3月期	93,294	60,483	60.4	422.57

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 58,868百万円 25年3月期 56,350百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	3.00	—	4.00	7.00
26年3月期	—	3.00	—	—	—
26年3月期（予想）	—	—	—	4.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	96,700	0.5	4,800	16.9	8,720	41.1	5,200	16.8	39.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	141,667,400株	25年3月期	141,667,400株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	8,321,825株	25年3月期	8,318,092株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	133,347,688株	25年3月期2Q	133,351,878株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、デフレからの脱却を目指す各種政策（アベノミクス）により、当初は期待感から始まった為替相場の是正や株式市場の回復傾向が定着し、生産活動や個人消費への波及など徐々に回復の動きを強めております。一方で、家計所得への還元が不確定の中、来年度からの消費増税が決定されるなど、先行きの不透明感の一扫には至っていないものと考えられます。

このような状況の中、当社グループは期初に掲げた連結経常利益の史上最高益を目指すべく、第4次中期経営計画「Mitsui Sugar Revolution 2013（2012年4月～2014年3月）」の達成に向けて邁進して参りました結果、当第2四半期連結累計期間の業績及びセグメントの概況は以下のとおりとなりました。

(砂糖事業)

砂糖事業につきましては、前年10月に実施致しました岡山工場の神戸工場への生産集約を中心としたコストダウンに注力し、製造固定費削減などの効果は上げたものの、製造変動費については、円安などにより引き続きエネルギーコストの上昇などの影響を余儀なくされました。

海外粗糖相場につきましては、世界最大の生産・輸出国ブラジルでの降雨による収穫遅れやエタノール生産の増加などを背景にした強材料と、同国での供給懸念の後退やアジア地区最大の輸出国タイ国での好調な生産見通しと生産国の通貨安などの弱材料が交錯し、比較的小幅レンジで推移しましたが、9月には徐々に水準を切り上げる動きとなっております。

売上高としては、海外粗糖相場の影響などから前年比での国内販売価格水準が下落したことや、第1四半期での天候不順、期を通じた量販店での家庭用特売の減少などから販売量も伸び悩み、前年同期を下回る結果となりました。

一方、連結子会社につきましては、販売量の増加などから前年同期を上回る結果となりました。

以上の結果、売上高42,342百万円、営業利益は1,925百万円となりました。

期中の砂糖市況

国内市中相場（日本経済新聞掲載、東京上白大袋1kg当たり）

期を通じて182円～183円で推移

海外粗糖相場（ニューヨーク砂糖当限、1ポンド当たり）

始値17.70セント 高値18.15セント 安値15.93セント 終値17.55セント

(食品素材事業)

食品素材事業につきましては、前年7月に連結子会社株式会社タイショーテクノスが田辺三菱製薬株式会社より食品事業の一部を譲り受けたことが貢献し増収となりましたが、既存事業のパラチノースの製造コスト負担増など減益要因があり、売上高は4,890百万円、営業利益は165百万円となりました。

(不動産事業)

引き続き社有不動産の効率的活用に努めましたが、前年度において賃貸物件の一部を売却したことを主因として売上高、営業利益ともに前年同期を下回った結果、売上高は575百万円、営業利益は293百万円となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は47,808百万円（前年同期比1.0%減）、営業利益は2,384百万円（同44.3%増）となりました。

営業外損益においては、受取ロイヤリティー1,735百万円を計上したことなどから経常利益は4,089百万円（前年同期比65.0%増）、四半期純利益は2,495百万円（前年同期比67.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

〔連結財政状態の変動状況〕

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末比4,306百万円減少し88,988百万円となりました。連結貸借対照表の主要項目ごとの主な増減要因等は次のとおりであります。

①流動資産

流動資産は、前連結会計年度末比4,671百万円減少し32,749百万円となりました。これは主として、原材料及び貯蔵品の増加1,544百万円、現金及び預金の増加1,272百万円等があった一方で、商品及び製品の減少7,254百万円等があったことによるものであります。

②固定資産

固定資産は、前連結会計年度末比364百万円増加し56,238百万円となりました。これは主として、投資有価証券の増加668百万円、建設仮勘定の増加598百万円等があった一方で、機械装置及び運搬具の減少560百万円、建物及び構築物の減少250百万円等があったことによるものであります。

③負債

負債は、前連結会計年度末比6,894百万円減少し25,917百万円となりました。これは支払手形及び買掛金の増加267百万円、未払消費税等の増加203百万円、未払法人税等の増加193百万円等があった一方で、短期借入金の減少6,700百万円、長期借入金の減少1,039百万円、未払費用の減少246百万円等があったことによるものであります。

④純資産

純資産は、前連結会計年度末比2,587百万円増加し63,070百万円となりました。これは主として、四半期純利益2,495百万円、剰余金の配当534百万円、為替換算調整勘定の増加503百万円等があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績予想につきましては、海外粗糖相場の上昇や受取ロイヤリティの増加などから前回公表値を修正しております。本日別途開示しております「業績予想との差異及び業績予想の修正に関するお知らせ」を併せてご覧いただきますようお願いいたします。

また、平成25年10月30日開催の取締役会において、当社食品素材事業のうち色素・香味事業および寒天・ゲル化剤事業を会社分割し、連結子会社株式会社タイショーテクノスへ承継することを決議いたしました。本日別途開示しております「会社分割（簡易吸収分割）による当社連結子会社への食品素材事業（一部）の承継に関するお知らせ」を併せてご覧いただきますようお願いいたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,648	8,921
受取手形及び売掛金	6,380	6,546
商品及び製品	15,440	8,186
仕掛品	1,764	1,412
原材料及び貯蔵品	4,526	6,070
繰延税金資産	601	607
その他	1,057	1,003
流動資産合計	37,420	32,749
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	32,917	32,817
減価償却累計額	△21,703	△21,853
建物及び構築物(純額)	11,213	10,963
機械装置及び運搬具	74,052	73,799
減価償却累計額	△60,524	△60,832
機械装置及び運搬具(純額)	13,527	12,966
工具、器具及び備品	2,259	2,278
減価償却累計額	△1,874	△1,912
工具、器具及び備品(純額)	384	366
土地	18,045	18,027
リース資産	35	58
減価償却累計額	△6	△9
リース資産(純額)	29	49
建設仮勘定	87	686
有形固定資産合計	43,287	43,059
無形固定資産		
無形固定資産合計	780	694
投資その他の資産		
投資有価証券	9,979	10,648
長期貸付金	54	49
繰延税金資産	925	881
その他	868	927
貸倒引当金	△22	△22
投資その他の資産合計	11,805	12,484
固定資産合計	55,874	56,238
資産合計	93,294	88,988

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,956	6,223
短期借入金	8,300	1,600
1年内返済予定の長期借入金	2,059	1,859
リース債務	4	7
未払費用	2,839	2,592
未払法人税等	1,206	1,399
未払消費税等	133	337
役員賞与引当金	57	27
資産除去債務	—	1
その他	1,210	1,794
流動負債合計	21,767	15,844
固定負債		
長期借入金	4,503	3,664
リース債務	24	42
繰延税金負債	1,062	1,140
退職給付引当金	3,069	3,038
役員退職慰労引当金	121	137
資産除去債務	294	282
長期預り保証金	809	759
その他	1,158	1,007
固定負債合計	11,043	10,072
負債合計	32,811	25,917
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,083	7,083
資本剰余金	1,255	1,255
利益剰余金	51,205	53,167
自己株式	△2,916	△2,917
株主資本合計	56,627	58,587
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	282	332
繰延ヘッジ損益	△5	△0
為替換算調整勘定	△554	△51
その他の包括利益累計額合計	△277	280
少数株主持分	4,133	4,202
純資産合計	60,483	63,070
負債純資産合計	93,294	88,988

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	48,303	47,808
売上原価	38,906	37,642
売上総利益	9,397	10,165
販売費及び一般管理費		
配送費	2,106	2,159
役員賞与引当金繰入額	23	26
退職給付引当金繰入額	81	81
役員退職慰労引当金繰入額	15	15
その他	5,518	5,498
販売費及び一般管理費合計	7,744	7,780
営業利益	1,652	2,384
営業外収益		
受取利息	1	3
受取配当金	56	75
受取ロイヤリティー	848	1,735
持分法による投資利益	209	130
雑収入	164	128
営業外収益合計	1,280	2,073
営業外費用		
支払利息	81	68
固定資産除却損	109	94
設備撤去費	116	111
雑損失	146	94
営業外費用合計	454	367
経常利益	2,478	4,089
特別利益		
投資有価証券売却益	59	—
固定資産処分益	45	—
補助金収入	—	54
負ののれん発生益	2,134	—
特別利益合計	2,238	54
特別損失		
固定資産圧縮損	—	41
減損損失	40	—
投資有価証券評価損	15	—
段階取得に係る差損	2,121	—
支払補償費	105	—
その他	60	—
特別損失合計	2,342	41
税金等調整前四半期純利益	2,374	4,103
法人税、住民税及び事業税	661	1,450
法人税等調整額	201	92
法人税等合計	863	1,543
少数株主損益調整前四半期純利益	1,511	2,560
少数株主利益	18	64
四半期純利益	1,492	2,495

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,511	2,560
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△46	35
繰延ヘッジ損益	6	10
持分法適用会社に対する持分相当額	38	516
その他の包括利益合計	△1	562
四半期包括利益	1,510	3,122
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,480	3,053
少数株主に係る四半期包括利益	29	69

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	砂糖事業	食品素材 事業	不動産事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	43,240	4,432	629	48,303	—	48,303
セグメント間の内部売 上高又は振替高	24	—	38	62	△62	—
計	43,264	4,432	668	48,365	△62	48,303
セグメント利益	1,109	180	362	1,652	—	1,652

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第1四半期連結会計期間において、北海道糖業株式会社の株式を追加取得し、新たに連結の範囲に含めております。これにより、前連結会計年度の末日と比べ、当第2四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「砂糖事業」セグメントにおいて16,533百万円、「食品素材事業」セグメントにおいて811百万円増加しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	砂糖事業	食品素材 事業	不動産事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	42,342	4,890	575	47,808	—	47,808
セグメント間の内部売 上高又は振替高	25	—	27	53	△53	—
計	42,368	4,890	602	47,861	△53	47,808
セグメント利益	1,925	165	293	2,384	—	2,384

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。